

温篤新聞

通巻88号



第29回世界鍼灸学会 in つくば!!

来る11月5日・6日(日・月)つくばにて鍼灸の世界学会が開催されます。

この鍼灸の世界学会とは、当院で行っている経絡治療だけでなく、世の中の様々な治療法を行っている鍼灸師が集い、国際的な学術交流を深めることで、世界各地の鍼灸団体が理解・協力し、人類の健康に貢献することを目的として1987年に設立された団体です。

名称を『世界鍼灸学会連合会』といい、英語表記である『The

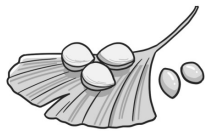
World Federation of Acupuncture-moxibustion Societiesの頭文字を取って『WFAS』と称します。

WFASは、世界の鍼灸関係の学術団体、53カ国178団体が加盟している国際的な団体で、1987年の設立の年に、第1回世界鍼灸学術大会として北京にて開催され、第7回大会を京都にて開催し、この日本では23年ぶりに開催される運びとなりました。

しかも『in つくば!!』

医食同源 銀杏

気管支や肺の働きを良くする食べ物です。痰の多い咳や喘息などの症状には、常食すると効果があります。また頻尿にも良いとされ、夜尿症の子供には、焼いた銀杏を食べさせるとよいでしょう。無色又は白色のおりものが多い時にも用いられます。但し、銀杏は微量の毒性のある成分が含まれるため、一度に大量に食べると、嘔吐、消化不良、呼吸困難などの中毒症状を起すことがあるので注意が必要です。



今月のツボ

申脈(しんみやく)

「申」はあきらかといういう意味です。「脈」は経脈の脈です。東洋医学では身体の機能に関係のあるツボの道すじを経絡と呼んでいます。このうち縦の道すじを経脈、横の道すじを絡脈といい、経脈と絡脈には、心身の活力となるエネルギーが巡っているとされています。このツボ名は、明らかに



経脈の触れるところにあるツボという意味から付けられました。場所は、外くるぶしのすぐ下で、指で押すとくぼむ所に取ります。

足首の痛み、気分が動揺して落ち着かない、頭痛、めまい、足首の関節炎、リウマチ、などに用いられます。

鍼灸の歴史は、中国の新石器時代に「砭石(へんせき)」が発明された事に始まります。これは人類が疾病と闘うために創意工夫した原初的な医療器具とされており、時代が進むのと共に鍼灸医療器具も発展し現在に至っています。そして、そこに何十世紀にも亘って伝えられてきた治療経験を体系化し、東洋医学思想と為してきました。

現在では、人の生存に対する実践的医療として、統合医療、災害医療、介護医療、終末期医療、予防医療、全人的医療として行われています。

今は世界に広く伝播され普遍的でありながら、各地域固有の文化と融合し、多種多様性のある「最も古く、最も新しい健康観を内包した医療」として世界各国で国民に受け入れられています。

今回は、日本での開催なので、経絡

治療などの伝統医学を中心に、災害医療である被災者に対する医療などが講演されます。他にも中医学における歴史やアフリカで行われている結核患者に対する灸治療などのグローバルな講演もあるようです。

現代医学の歴史はまだ200年にも満たないですが、日本の鍼灸は約1500年もの長い歴史があり、実際に実践し人類に貢献してきました。これからの世界の中で重要なキーワードとなる『持続可能な医療』として、今後も鍼灸は期待されています。

今回は市民講座も開催されており、要予約ですが一般の方も無料で参加出来ますので、詳しくは当院のホームページのブログをご覧ください。



二十四節気七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらは大抵五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

二十四節気

立冬

(十一月七日)

暦の上では、まさに今が冬の始まりです。北国から初雪の便りが届いたり、冬の季節風が吹き始めるのもこの時期です。「今朝の冬」という季語がありますが、これは立冬の日の朝のことを示します。



『低い心で学ぶ』

いつ、どのような場合でも、どのような態度をする人にも、私たちは、その人の親であるという考え方で、その人の心をなぐさめ、その人が少しでもよくなるように願います。また、その人の悪いところを見たら、それは、自分への忠告として、低い心で学びたいものです。

このように「親である」という考え方、心づかいで人をなぐさめ、同時に低い心で学ぶところに、幸せへの道があるのです。

そういう心がけで、私たちが努力していけば、仮に相手の人がよくなっても、よくなるなくても、私たちの努力は無意味ではありません。私たちの品性は一歩ずつ向上していきます。

「一日一話」より

七十二候

(十一月八日～十二日頃)

山茶始開(つばきはじめてひらく)

ツバキ科の花には大きく分けてツバキとサザンカの種があります。冬の初めに先駆けとして咲くのはサザンカで、垣根にポツリポツリと花をつけ始め、冬の訪れを予感させてくれます。ツバキ科の仲間には、種類によって開花期がさまざま、春までの長い期間をかけて咲き分けます。同じツバキ科でも、サザンカとツバキは、花の形

は非常によく似ていますが、花弁の散り方に違いが見られます。

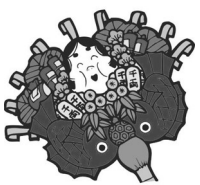


季節のたのしみ

酒の市

十一月の酒の日に行われる鷺(おおとり)神社の祭礼を酒の市といい、昔から「お酉さま」と呼ばれて親しまれてきました。東京では、浅草の鷺神社や新宿の花園神社、目黒の大鳥神社の祭礼が有名です。当日は境内に縁起物の熊手を売る屋台が出て、商売繁盛を願う参拝客でごった返します。

十一月最初の酒の日を「一の酉」、二番目を「二の酉」といい、三番目はある年とない年があります。三の酉まである年は火事が多いという言い伝えもあります。



11月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11月5日(土)はWFAS出席のため午前中のみとなります。

執筆余話

今年の秋は、小学校と幼稚園の運動会に参加してしまつたため、土曜しかお時間が作れない患者さんにはご迷惑をおかけ致しました。おまけに今年はWFASの開催もあり、ご迷惑の連続で申し訳ない限りです。

一人で仕事をしている分、今までは運動会に参加しない方針だったのですが、昨年の常総市の鬼怒川の氾濫で運動会が中止になり、患者さんには申し訳ないですが、参加出来る時は参加しようと思変わりし、今年初めて幼稚園の運動会に参加させて頂きました。ご迷惑をかけたので申し訳ない思いなのですが、子供たちの頑張っている姿にとっても親心がくすぐられ、また子供と一緒に参加する競技でも楽しい思い出を作らせて頂き、ありがとうございます。

でも、幼稚園は終了直後より大雨、小学校は雨天延期で日曜開催…。初めての参加なのに、私は雨男なのでしょうか…?

